下田市ボランティア連絡協議会

創立 10 周年記念誌

創立10周年記念誌

目　　次

1．　目　　次 …… 1

2．　大　会　日　程 …… 2

3．　ご　あ　い　さ　つ …… 3

4．　お　祝　い　の　こ　と　ば

　　下田市長　楠山俊介 …… 4

　　下田市議会議長　土屋　忍 …… 5

　　下田市教育長　野田光男 …… 6

4．　大　会　宣　言　（案） …… 7

5．　１　０　年　の　歩　み …… 8

6．　下田市ボランティア連絡協議会

　　加入団体活動紹介 …… 23

7．　歴　代　役　員　名　簿 …… 33

8．　H25年度下田市ボランティア連絡協議会名簿 …… 36

9．　編　集　後　記 …… 37

下田市ボランティア連絡協議会
創立 10 周年記念大会日程

〔受付開始　１３：００〕

式　　典

１・開　　会（13:30～）

２．開会のことば　下田市ボランティア連絡協議会 副会長

３．挨　　拶　下田市ボランティア連絡協議会 会長

４．祝　　辞　下田市長

下田市議会議長

下田市教育長

来賓紹介

５．大 会 宣 言

【 舞 台 転 換 】

６．下田市ボランティア連絡協議会　10 年の歩み、活動紹介

７．下田市ボランティア連絡協議会　加入団体活動紹介

８．閉会のことば　下田市ボランティア連絡協議会 会長

９．閉　　会（～15:30）

『ごあいさつ』

下田市ボランティア連絡協議会

会 長　浅野 勝美

平成 25 年 6 月 7 日、下田市ボランティア連絡協議会の創立 10 周年記念式典を迎え、来賓の方々、福祉関係、各団体の会員、市民の皆様にご参加頂き、盛大に記念大会を開催できました事を心より感謝申し上げます。

発足当時、行政サービスも十分でなく、ボランティアの力に頼らざる得ない事業もたくさんあり、下田市内でも、数多くのボランティア団体がそれぞれ独自に活動しておりました。しかし、ボランティア団体同士が、相互に情報交換する機会はありませんでした。

その様な状況の中、下田市社会福祉協議会が中心となり、ボランティア団体に呼びかけを行った結果、12 団体が賛同し、平成 15 年 3 月に下田市ボランティア連絡協議会を発足する運びとなりました。

会の発展を目指して歴代会長、役員皆様のご努力によって現在では 29 団体と多くの団体に加入して頂き、会独自の活動も充実してまいりました。

私たちを取り巻く環境は、少子・高齢化や核家族化、雇用環境の変化に伴い、社会的孤立の問題や、低所得の問題、権利擁護の問題など、個別・多様化し、既存の社会福祉の制度施策だけでは対応できない問題が広がっています。

行政サービスだけではなく、地域に暮らす皆さんの力や、ボランティア活動に対する期待もますます高まっております。

今後の活動を発展させるためには、10 周年を第 1 歩として、各団体の活動基盤を強化し、仲間を増やすための参画しやすい体制づくり、さらなるボランティア同士の協力、連携が重要であります。

近所同士のつながり、思いやりも薄れて来ている昨今、ボランティア活動して頂いている各会員の皆様は本当に素晴らしい、思いやりのある方々です。

下田市ボランティア連絡協議会がさらに前進することを目指し、各会員、皆様の応援ご協力の程を切にお願い申し上げます。

『ボランティアの絆が社会を変える』

下田市長　楠山 俊介

本日、下田市ボランティア連絡協議会創立１０周年記念大会がこのように盛大に挙行されますこと、誠におめでとうございます。

この協議会は、市内のボランティアの方々が福祉の向上と明るく住み良いまちづくりをめざし、ボランティア相互間の親睦と連絡、協議、協力することを目的とし、１０年前の平成１５年に設立されました。

設立当初１２団体でスタートしたこの協議会は、今や２９団体、５２６名の会員をほこるまで成長をされました。これら団体の活動内容には、福祉関係から、子育て、観光案内、災害支援、語学、学校関係等、ありとあらゆる活動が網羅されております。そして、このように活動分野の異なる団体を、共通の基本概念である「ボランティア」精神に基づき結びつけ、運営されてこられた歴代の会長を始め、役員の皆様方の献身的な努力に改めて敬意を表します。

一昨年の東日本大震災を契機に、防災やボランティアに関する市民の意識は大きく変化しました。とりわけ、市民一人一人の協力や支え合うまちづくりがクローズアップされ、地域の絆が重要な要素となってまいりました。

このような社会において、災害に備え、定例会を通じ、常に団体間での交流や情報交換を行うとともに知識や技能の向上に努められている姿や、東日本大震災への復興支援活動をされている姿は、私たちの心の奥深くに届き、災害時における市民の信頼と安心を勝ち得ております。

行政といたしましても、皆様方の協力が必要不可欠であります。是非とも、協力体制を築き、「暮らす人も訪れる人も快適なまち『快国』下田をめざして」まちづくりを進めていきたいと思います。

結びといたしまして、下田市ボランティア連絡協議会、所属しております各団体の益々のご発展と、会員皆様方のご多幸・ご健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

『祝辞』

下田市議会議長

土 屋　忍

本日ここに、下田市ボランティア連絡協議会創立１０周年記念大会が開催されるにあたり、下田市議会を代表し、一言お祝いの言葉を申し上げます。

本日お集まりの皆様におかれましては、日頃より社会福祉、教育、文化、環境保全、防災、安心して生活できる町づくりなど様々な分野においてご尽力され、各分野の進展、民生の安定に大きく寄与されてこられたことと存じております。
その献身的なご活躍に対しまして、心より厚くお礼申し上げます。

少子高齢化、周辺住民との人間関係の希薄化等が進んでいる現在、子育て環境の充実、高齢者の孤立防止、防災対策、コミュニティの充実など社会に対する期待は大きくなり様々なニーズに対するサービスの向上が求められております。

下田市議会と致しましても生涯にわたり全ての市民の方々が常に健康で文化的な生活を送ることの出来るまちづくりを目指してまいりますが、このことにつきましても皆様の活動が大きく貢献していることは、言うまでもありません。市民の方が健康で希望を持って暮らせる、胸を張って下田はすばらしい町だと言えるそんな場所を作るためにもこれからも皆様のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、皆様方の今後ますますのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げまして、簡単ではございますがお祝いの言葉とかえさせていただきます。

「ボランティア」その気持ち、その心にエールを送ります！

下田市教育長　野田光男

下田市ボランティア連絡協議会が創立 10 周年を迎えられましたことに対しまして、まずもって心よりお祝い申し上げます。

「ボランティア」は自発、無償、公益を基本とするとされていますが、それだけに長い間継続して活動することは大変なことだと思います。

一口に 10 年とは言いますが、この間、継続して取り組まれました熱意と活動に心から敬意を表するところでございます。

最近の社会の様子を見ていますと、「思いやり」「優しさ」「助け合い」「奉仕」といった、人と人を繋ぐ「心」は何処に行ってしまったのだろうと思われることがあまりに多いように感じます。その様な中、先の東日本大震災が起きました。未曽有の災害と言われたこの大震災は、日本だけでなく、世界中を震撼させる大きな出来事でした。

国の本当の豊かさは、ものが豊富にあることの豊かさではなく、助け合いや、人への思いやりの深さだと言われます。また、その豊かさは、社会が疲弊したり、不安に陥ったり、困難に直面したときに分かるとも言われます。

別の見方をすれば、正に私たちの「心の豊かさ」が試される時であったと思います。

幸いなことに、被災された皆さんの整然と救援物資を待つ姿や、大変な状況にあっても互いに助け合う姿に諸外国の人々から賞賛の声が上がりました。

多くのボランティアの皆さんが復興支援をと被災地に駆けつけましたが、気持ちはあっても直接手をさしのべることのできない人もたくさんいました。

その様な中にあって、遠くであってもできる支援をと、下田市内の多くのボランティア団体も支援に向けた取り組みが始まりました。

先日、皆さんの「東日本大震災復興支援活動 実施報告」を拝見しました。多くの皆さんが心を一つにして取り組まれた様子が熱く伝わってきました。子供たちが募金活動に頑張っている姿もありました。

大震災を契機に「絆」の大切さが注目されましたが、正にこの姿こそが「絆」そのものではないかと感じます。日頃の活動の中身は違っても、ボランティアの心には共通するものを感じます。心の豊かさは、一朝一夕に育まれるものではありませんし、心と心を結びながら長い時間を掛けて取り組む中でしか醸成されません。

ボランティア団体を繋ぐ下田市ボランティア連絡協議会が一つの節目としての創立 10 周年を迎えられましたが、「人と人を繋ぐ心」をより大きく膨らませ、共に助け合う明るい社会を作るためにも、次の節目に向けて、より一層の活動の充実を期待致します。

終りに、下田市ボランティア連絡協議会の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝・ご活躍を祈念しまして挨拶といたします。

大会宣言（案）

1 市民の社会福祉に対する理解と関心を高め、ボランティア活動への積極的な参加を進めましょう。

1 すべての児童が、よりよい環境のもとで健やかに育成されるよう、地域ぐるみで子育てを支援しましょう。

1 地域の誰もが障がいについて理解を深め、障がいのあるなしにかかわらず、共に暮らしやすい地域づくりを進めましょう。

1 高齢者やひとり暮らし家庭などが孤立することなく、安心して暮らせるよう、行政との連携による地域福祉活動を強化しましょう。

1 美しい自然の豊かな恵みを、健全な状態で次世代に引き継ぐため、ひとりひとりの環境に対する意識を高め、環境の維持・向上に努めましょう。

1 災害時にボランティア団体として、最も適切な役割を果たすために、平常時から団体間での交流と情報交換を行ない、知識や技能の向上に努めましょう。

1 共同募金が、社会福祉の増進に果たす役割と使命を理解し、募金活動をさらに進めましょう。

1 誰もが住み慣れた地域で安心したその人らしい生活を送れるよう、地域の福祉活動を拡充し、支え合えるまちづくりを進めましょう。

10年の歩み

10年の歩み

[平成14年度]

平成15年(2003)

3月 7日　打合せ会議の開催

3月28日　発足総会の開催

記念講演：『 ほんとうのボランティア　にせのボランティア 』

【講師 静岡県ボランティア協会　理事　木村行雄　氏】

◎主な出来事

- ボランティア相互の交流連携を図るため、打合せ会、総会を経て創立。
- 当初 12 団体、役員 6 名で設立、運営開始。

[平成15年度]

平成15年(2003)

8月22日　役員会の開催

9月 5日　代表者会の開催

平成16年(2004)

1月30日　役員会の開催

3月24日　総会の開催

記念講演：『ボランティアの基本と連絡協議会のあり方』

【講師 KT福祉研究所代表　松藤和生　氏】

◎主な出来事

- 下田市内のボランティア団体へ加入を呼びかけ、当初 12 団体から、26 団体に。
- 会則を一部改正、役員を 9 名に増員。
- 代議員制を導入。

[平成16年度]

平成16年(2004)
　　6月23日　視察研修の開催

・日本盲導犬協会神奈川訓練センター
・環境エネルギー館見学

平成17年(2005)

　　3月 9日　役員会の開催

　　3月22日（2005年）総会の開催

記念講演：『災害時のボランティア活動について今できること』
　　【静岡県ボランティア協会　事務局長　鳥羽 茂　氏】

◎主な出来事

・団体単体では企画困難なことを
　ボラ連独自事業として実施できるよう検討
・視察研修を企画、実施。
・次年度より毎月１回ボランティア活動者が集える場所として『交流の場・つどいの広場』の開催決定（月１回）。

[平成17年度]

平成17年(2005)
　　4月21日　代表者会の開催

『交流の場・つどいの広場』の開催

平成17年(2005)	6月16日
	7月14日
	8月18日
	9月15日
	11月17日
	12月15日
平成18年(2006)	1月19日

平成17年(2005)
　　10月11日　役員会の開催

　　10月20日　代表者会の開催

平成18年(2006)
　　2月 1日　役員会の開催

　　2月16日　代表者会の開催

　　3月24日　総会の開催

記念講演：『災害時にボランティア連絡協議会として出来ること』
　　【御殿場市ボランティア連絡協議会　会長　近藤八重子　氏】

◎主な出来事

- 『交流の場・つどいの広場』の開催。
- 加入団体が 28 団体となる。
- 会則を一部改正、役員 10 名に増員。
- MaxValu で行われている黄色いレシートキャンペーンに登録。

[平成18年度]

『交流の場・つどいの広場』の開催

平成18年(2006)	4月20日
	6月15日
	7月20日
	8月17日
	9月21日
	11月16日
	12月21日
平成19年(2007)	1月18日
	2月15日
	3月15日

平成18年(2006)
10月19日　代表者会の開催

平成19年(2007)
1月16日　代表者会の開催

1月31日　役員会の開催

3月 9日　総会の開催

記念講演：『東海地震について』
～災害時にボランティア連絡協議会としてできること～
【賀茂地域防災局職員　　鶴澤　茂徳　氏】

◎主な出来事

・毎月第 3 木曜日に開催していた
『交流の場・つどいの広場』を廃止。
・次年度より 3 カ月に 1 回の定例会に変更決定。

[平成19年度]

平成19年(2007)

4月24日　4月定例会の開催
7月27日　7月定例会の開催
10月22日　10月定例会の開催

平成20年(2008)

1月22日　1月定例会の開催
2月19日　役員会の開催
3月 4日　総会の開催

記念講演：『聴覚障害者への情報保障について』
【静岡県聴覚障害者協会　小倉健太郎　氏】

◎主な出来事

- 年４回の定例会実施。
- 次年度より、研修交流会の実施、社協主催のふれあい広場への参画決定。

[平成20年度]

平成20年(2008)

4月28日　4月定例会の開催
6月 9日　研修交流会 第1回実行委員会の開催
7月31日　7月定例会の開催
10月21日　研修交流会 第2回実行委員会の開催
10月27日　研修交流会の開催　ｴｱﾃﾝﾄ設営、ｻﾊﾞ飯体験（ｻﾊﾞｲﾊﾞﾙ飯炊き）

平成21年(2009)

1月29日　1月定例会の開催

2月20日　役員会の開催

3月 8日　啓発事業の実施（ふれあい広場参画）

平成21年(2009)

3月10日　総会の開催

記念講演：『身近な犯罪を地域で守る』

～ボランティア団体として出来ること～

【下田警察署 生活安全課係長 向田信次】

◎主な出来事

- 災害時の研修を兼ねた交流会の実施。
- 各加入団体の活動を取りまとめた冊子の作成。
- ふれあい広場での啓発事業の実施。

[平成21年度]

平成21年(2009)

4月30日　4月定例会の開催

6月19日　親睦研修の開催

7月30日　7月定例会の開催

9月29日　視察研修の開催

10月28日　定例会の開催

平成22年(2010)

1月13日　役員会の開催

1月20日　啓発事業の実施

（女性の会主催エンパワーメント講演会時に実施）

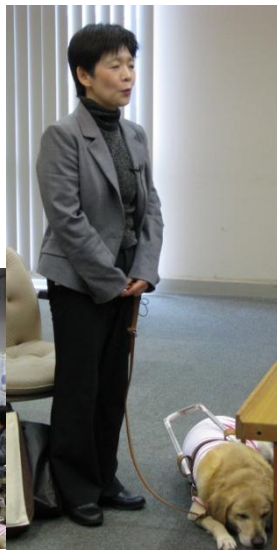
1月27日　1月定例会の開催

3月 4日　総会の開催

記念講演：『障害者について理解を深める』

～ボランティア団体として出来ること～

【下田アイフレンズ　代表　土屋まさ代】



◎主な出来事

- 他のボランティア団体の活動を実体験し、相互の活動理解を深める場としての親睦研修の実施。
- ボランティア活動を PR する場として、啓発事業の実施。
- 一つの団体では困難な、県外の先駆的な活動先への視察研修の実施。

[平成22年度]

平成22年(2010)

4月26日　4月定例会の開催

6月18日　親睦研修

7月28日　7月定例会の開催

10月 3日　啓発事業の実施

下田市ふれあい広場実行委員会主催ふれあい広場開催時に実施）

10月19日　視察研修の実施

・東京消防庁 本所都民防災教育センター 本所防災館

・お台場（自由散策）

10月31日　ボランティア入門講座の実施
「車いすダンス体験」(講師：NPO静岡福祉レクリエーション連盟下田支部)

11月17日　11月定例会の実施

平成23年(2011)
1月20日　役員会の開催
1月28日　1月定例会の開催
3月11日　総会の開催

記念講演：『障害者について理解を深める』
～ボランティア団体として出来ること～
【福祉教育講師　佐々木大志郎　氏】

◎主な出来事

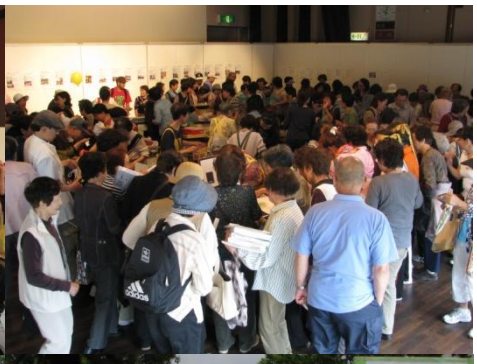
- **親睦研修、啓発事業、視察研修の実施。**
- **新たな取り組みとして、一般市民対象のボランティア入門講座を開催。**

[平成23年度]

平成23年(2011)
4月 8日　役員会の開催
4月25日　4月定例会の開催
5月 9日　実行委員会の開催
5月20日　東日本大震災復興支援活動準備

5月21日　東日本大震災復興支援活動準備

5月22日　東日本大震災復興支援活動の実施
（黒船祭の代わりに行われた「下田元気祭」にて実施）



6月10日　東日本大震災復興支援活動報告会

7月13日　7月定例会の開催
9月16日　視察研修の実施
・ねむの木学園
・資生堂美術館

10月28日　10月定例会の開催
11月20日　啓発事業の実施
（下田市ふれあい広場実行委員会主催ふれあい広場開催時に実施）

12月11日　ボランティア入門講座の実施
「楽しい手話体験」(講師：下田手話サークルあじさい会、伊豆海会)

平成24年(2012)

1月11日　役員会の開催
1月24日　1月定例会の開催
3月 2日　総会の開催
記念講演：『東日本大震災から学ぶ』
～ボランティア団体として出来ること～
【御殿場市ボランティア連絡協議会　会長　勝俣三朗　氏】

◎主な出来事

- 啓発事業、視察研修、ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ入門講座の実施。
- H23. 3. 11 ボラ連総会中に起きた東日本大震災に対して支援を決定。
- 復興支援活動として、黒船祭りの代わりのイベント下田元気祭にて復興支援バザーを実施。
- 復興支援活動報告会を実施。

[平成24年度]

平成24年(2012)

4月 5日　役員会の開催
4月10日　4月定例会の開催
4月16日　実行委員会の開催（復興支援活動準備）

4月27日　実行委員会の開催（復興支援活動準備）

5月19日　東日本大震災復興支援活動の実施（黒船祭にて実施）

5月20日　東日本大震災復興支援活動の実施（黒船祭にて実施）

6月 6日　東日本大震災復興支援活動報告会 兼 被災地支援者報告会

7月10日　7月定例会の開催

9月21日　視察研修の実施

・東京臨海広域防災公園そなエリア

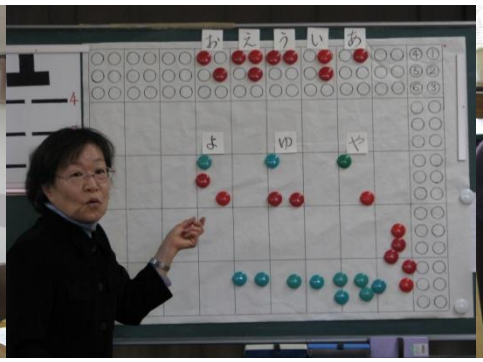
・巣鴨とげぬき地蔵高岩寺、巣鴨地蔵通り商店

10月28日　10月定例会の開催

11月18日　啓発事業の実施

（下田市ふれあい広場実行委員会主催ふれあい広場開催時に実施）

12月 9日　ボランティア入門講座の実施
「楽しい点字体験」(講師：下田市点字サークルあけぼの会)



平成25年(2013)
1月16日　役員会の開催
1月29日　1月定例会の開催
3月 4日　総会の開催

記念講演：『聴導犬について』
～障害者について理解を深める～
【聴導犬ユーザー　細井佐織　氏】

◎主な出来事

- 啓発事業、視察研修、ボランティア入門講座の実施。
- 黒船祭で東日本復興支援活動として街頭募金活動を実施。応援メッセージフラッグを作成。
- 復興支援活動報告会兼被災地支援活動者による報告会を実施。

下田市ボランティア連絡協議会
加入団体　活動紹介

○加入団体活動紹介

No. 1

団体名	フレンズ	代表	鈴木 忠由	会員数	6 名
定期的な活動	・みくらの里への慰問。 1ヶ月おきに慰問し、季節にあったものを作ったり、歌ったりしています。 （お雛さま、鯉のぼり、かぶと、チュウリップの花畑、七夕かざり、虫たちの切り絵など） ・みくらの里まつりでの売店手伝い ・スクールガードボランティア活動				
短期的な活動	・高齢者の病院の送迎・介助。　・文化会館での催しの送迎 ・高齢者の入浴介助。　・県外の障害者への市内案内				

No. 2

団体名	下田手話サークル　あじさい会	代表	藤井 多恵子	会員数	10 名
定期的な活動	聴覚障害者と共に歩む手話サークルとして、ろう者の言語である手話を学び、交流を行い、楽しく勉強を続けています。				
短期的な活動	福祉教育の一環として、小中学校で手話、指文字、筆談、口話、表情、身振り、空文字がろう者の言葉としてあることを学ぶ授業を行なっています。聞こえないってどんな事？等、交流を通して聴覚障害者の生活を知ってもらいます。				

No. 3

団体名	下田市点字サークル あけぼの会	代表	土谷 清子	会員数	7 名
定期的な活動	1.点字（点訳）の勉強 2.福祉教育の一環として生徒に点字の指導。 3.視覚障害者の援助 4.視覚障害者への点字のお便り送付				
短期的な活動	1. 地域の高齢者の話し相手、時には電話でコミュニケーションをとっている。 2. 他県の視覚障害者の方々を受け入れ案内従事				

No. 4

団体名	たんぽぽの会	代表	大家 美枝子	会員数	20 名
定期的な活動	みなとの園、梓の里（習字教室） 柿崎はつらつ健康教室				
短期的な活動	松陰会への参加 （文化祭、潮の香音楽会、寺子屋勉強会等） 浜崎小学校ふれあい交流会参加 県南病院（クリスマス会演芸）				

No. 5

団体名	我楽路の会	代表	鈴木 悦子	会員数	35 名
定期的な活動	・毎月 1 回 9:00～15:00 まで特別養護老人ホーム梓の里へお手伝いに行っています。 ・入所者さんの衣類の繕い物、清拭布づくり、備品の修理等をしています。				

No. 6

団体名	NTTOB 下田まいまいの会	代表	渡辺 角夫	会員数	14 名
定期的な活動	下田市社会福祉協議会が実施している「ひよこサロン」の中でイベントに協力し、パネルを活用した子育て支援活動をしている。				

No. 7

団体名	下田ボランティアガイド協会	代表	杉坂 太郎	会員数	27 名
定期的な活動	土･日･祝日、観光客（歴史の散歩道）をご案内しています。 土･日･祝日は午前 10 時の 1 回 ボランティアガイドツアーを行なっています。 ※10 名様以上の場合は事前予約で有料 （1 人～10 人まで 1,000 円、 11 人様以上 100 円×人数） ※事前予約コースは有料 （1 人～10 人まで 1,000 円、11 人様以上 100 円×人数）となります。 ※休日　7 月 16 日～8 月 31 日と年末、年始（12/31,1/1）				
短期的な活動	障害をお持ちの方の市内観光ガイドとガイドヘルプを行なっています。				

No. 8

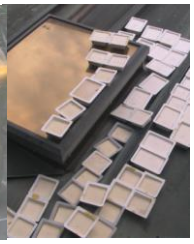
団体名	須崎美化推進クラブ	代表	小澤 豊夫	会員数	6 名
定期的な活動	須崎周辺（グリーンエリア等）の環境美化活動を行なっている。 毎月第１土曜日に開催される「ゴミひろいましょう」活動に参加している。				

No. 9

団体名	ガールスカウト静岡県第 61 団	代表	細井 和美	会員数	25 名
定期的な活動	・未就学児～高校生のスカウト、指導にあたる成人リーダーで活動しています。 ・キャンプ（テント、野外料理、クラフト作り、ロープワーク等　野外活動における実技習得） ・黒船祭パレード参加・市内クリーン作戦 ・ふれあい広場参加・募金活動 ・テーマ・行事に合わせた集会　月２回ほど				
短期的な活動	「生きるが育つ。」ガールスカウトは少女たちの、そして女性たちの生きる力を伸ばしていく活動です。 自然や仲間と交わる　さまざまな体験を通じて、芯のある心と、なんでもできる手を身につけ、未来を、世界を、豊かに生きる力を育てます。				

No. 10

団体名	サークル・エコ	代表	小川 志津子	会員数	5 名
定期的な活動	･廃油石けん作りと販売・PR 活動 ･「遊・VIVA!ネットワーク」への参加 ･ゴミ拾い【市の「ゴミひろいしましょ」に参加】 （毎月第 1 土曜日）				



No. 11

団体名	大賀茂ほたる便	代表	前田 由美	会員数	12 名
定期的な活動	主に大賀茂公会堂に於いて、ご高齢者の方々を対象に年間 10 回の定例会を開催しています。 まず、保健師さんの血圧測定による健康チェックから始まる楽しく笑いにあふれた 2 時間は、仲間との触れ合い、新しい経験、昔を思い出す映画や歌、異世代交流、そして遠足など、スタッフ 11 名の創意工夫と若々しいパワーで盛り上げています。				
短期的な活動	大賀茂区主催「敬老の集い」に協力 ゲーム、指体操、リズムダンス				

No. 12

団体名	下田市女性の会	代表	増田 悦子	会員数	71 名
定期的な活動	男女共同参画に関する事業 市のイベントの手伝い 日本赤十字奉仕団活動				
短期的な活動	サロン事業を通して高齢者支援 介護施設へのボランティア 男の調理教室 子育て支援				

No. 13

団体名	たまごの会	代表	渡辺 奈津江	会員数	5 名
定期的な活動	会員の情報交換 下田図書館、下田市社協主催ひよこサロンでのお話し会。 スキンシップ、遊び、絵本 パネルシアター				
短期的な活動	お話し会　等				

No. 14

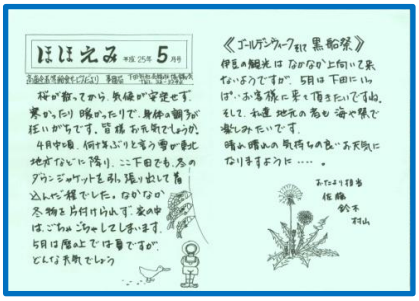
団体名	さざなみ会	代表	土屋 八重	会員数	6 名
定期的な活動	視覚からの情報を得ることが困難、もしくはその他の理由で情報の収得が困難な方に、情報を“音声”に換えて提供する活動を行なっております。 毎月発行される「広報しもだ」を主に、新聞記事や本などを音訳し、情報として提供しています。毎月 2 回集まり、1 回目はテープに音訳する原稿の読みあわせや、振り分けを行い、2 回目はテープに吹き込み作業を行ない、利用者分のテープにダビングし、発送しています。				

No. 15

代表	ぐるーぷ「鮎の詩」	代表	山本 祐子	会員数	8 名
定期的な活動	・下田市各小学校での定期的朝の読み聞かせ ・下田市及び近隣の小学校での読書週間、朗読会 ・図書館でのお話し会				
短期的な活動	・老人福祉施設及び保育所でのお話し会 ・中学校での朗読鑑賞会 ・大人向け朗読会				

No. 16

団体名	ほほえみ	代表	鈴木 宏子	会員数	3 名
定期的な活動	高齢者等給食サービス事業利用者に対し、 毎月１回お便りを書いています。 協力業者のお弁当屋さんが、利用者のところにお弁当を届ける際、一緒に届けてくれています。				



No. 17

団体名	手話サークル 伊豆海会	代表	佐藤 清嗣	会員数	23 名
定期的な活動	手話サークルとして、聴覚障害者の言語である手話を学ぶ勉強会を毎週金曜日19:00～20:30 下田市中央公民館で開催しています。 また交流会を行い、聴覚障害者の文化について理解を深めています。				
短期的な活動	福祉教育の一環として、小・中学校で手話、指文字、筆談、口話、表情、身振り、空文字がろう者の言葉としてあることを学ぶ授業を行なっています。 聞こえないってどんな事？等、交流を通して聴覚障害者の生活を知ってもらいます。				

No. 18

団体名	ボーイスカウト 下田第１団	代表	山田 紀彦	会員数	10 名
定期的な活動	月に２回の隊集会にて、野外活動と屋内活動を交互に行い、スカウト技能の修得を通して個人の資質を高め、チームワークを養うためのゲームや、工作をして集中力を高めたりしています。				
短期的な活動	地域に対する奉仕活動。 赤い羽根共同募金運動。 歳末助け合い募金。 入隊希望者に対する体験活動。				

No. 19

団体名	下田防波堤愛好会	代表	大塩　忠重	会員数	28 名
定期的な活動	５月から１０月までの夏期は毎週月曜日、１１月から４月までの冬期は１０日毎を定例活動日と定め、小雨決行で、早朝７時から約１時間、全長３７７メートルの犬走島堤防及び全長３２０メートルの福浦堤防周辺の清掃活動を行っています。 釣り人の落とした釣り針釣り糸、コマセ、餌等の釣り具用品、空き瓶缶、不用になったペットボトル、弁当容器などの迷惑ゴミ、また海から流れ着いた漂着ゴミを回収しています。 				

No. 20

団体名	下田市アマチュア無線 非常通信協力会	代表	山本　忠男	会員数	11 名
定期的な活動	毎年全国一斉で 9 月 1 日に防災訓練を行っています。 下田市防災訓練他。 				
短期的な活動	非常時に対しての通信訓練。				

No. 21

団体名	下田市健康づくり 食生活推進協議会	代表	原田　恵子	会員数	30 名
定期的な活動	･食育推進活動 （親子料理教室、おやこ食育教室、ふる里料理教室など） ･ふれあい広場などでの PR 活動 ･地域への伝達活動 ･自己研修(年８回テーマに応じ調理実習など) 				
短期的な活動	各団体からの依頼により教室等の開催。				

No. 22

団体名	NPO 静岡県福祉 レクリエーション連盟下田支部	代表	鈴木 道明	会員数	29 名
定期的な活動	1．毎月第 1 日曜日 会員による訓練(サンワーク下田) 2．施設訪問　ふれあいの下田、しおさい				
短期的な活動	他支部への応援　（伊東市、長泉町）				

No. 23

団体名	海のおしば　なのりその会	代表	江波 路子	会員数	12 名
定期的な活動	・道の駅開国下田みなとにて海藻おしば体験指導 月１回～３回　シオリ、ポストカード ・海藻採集　１月～６月				
短期的な活動	小学校、中学校、高等学校、その他へ 海藻おしば体験を指導している。				

No. 24

団体名	「遊・VIVA!」ネットワーク	代表	小川 志津子	会員数	20 名
定期的な活動	○年６回　土曜日　子どもと親子連れの居場所を提供。 ①「ミニ遊･VIVA!」“1 日移動児童館” ②「遊・VIVA!スペシャル」として、子どもの村「遊・VIVA!村」、「カプラフェスティバル」などを開催。 ③小学生スタッフ「VIVA!スタ」「1day VIVA!スタ」との“場づくり”活動				

No. 25

団体名	NPO 法人賀茂災害ボランティアコーディネートの会	代表	井田 一久	会員数	29 名
定期的な活動	・年３回の下田市災害ボランティアセンター立ち上げ訓練の実施。 ・避難所宿泊訓練の実施（下田市社協との協力） ・総合防災訓練への協力（下田市よりの依頼） 				
短期的な活動	・各地域の自主防や学校の依頼を受け、災害ボランティアの役割や、ボランティアコーディネーターの役割を講演している。 ・下田市社協と協力して、下田市災害ボランティア本部立ち上げ訓練を実施している。 ・救命講習会の実施				

No. 26

団体名	しもだ子育て応援隊“ぽっぽ”	代表	伊澤 英子	会員数	51 名
定期的な活動	・下田市社協主催の「ひよこサロン」での活動(年間 12 回) ・遊・VIVA!開催時に社協主催の「ひよこルーム」でのサロン活動(年間 10 回) ・団体から依頼された託児 ・市内幼稚園の家庭教育学級開催日の託児(各園数回ずつ) ・市内小学校参観日開催時の託児等 				
短期的な活動	・下田市社協主催の「ファミリーサポートセンターまかせて会員養成講座」参加者のための託児 ・下田市等の主催による講演会参加者のための託児				

No. 27

団体名	下田国際交流の会	代表	木田 寿司	会員数	7名
定期的な活動	･下田市主催の黒船祭りや外国人対象日本文化体験プログラムへの協力 （ボランティア通訳･翻訳:英語、スペイン語、ドイツ語） ･毎月 2 回程度定例会の機会を持ち、活動内容の報告や反省会と次の活動に備えた打合せや準備作業を行なっている。				
短期的な活動	･外国人観光客対照のボランティア観光案内 （下田市内及び南伊豆地域） ･静岡県国際交流協会への協力(ボランティア通訳等) ･地元市民や観光業界への協力(ボランティア通訳等) ･会員の知識や能力向上を目的とする研修 （観光案内、歴史の勉強等） 				

No. 28

団体名	はつらつ健康劇団	代表	土屋 穂波	会員数	9名
定期的な活動	健康や、振り込め詐欺などをテーマにした劇を通し、見る方に分かりやすく、そして楽しみながら、注意を促している。 健康をテーマに台本を作り、原則として毎月曜日の午前中演技練習をしている。 				
短期的な活動	依頼があれば、時間の許す限り、賀茂管内を廻って、公演に応じている。講演依頼は月１～２回ある。 主に内容としては、健康をテーマとして扱っている。				

No. 29

団体名	アンデルセン	代表	桑原 晃子	会員数	7名
定期的な活動	・稲生沢小学校にて、毎週火曜日に読み聞かせや、木曜日子ども教室を開いている。 				
短期的な活動	・東部特別支援学校での読み聞かせ ・図書館での読み聞かせ ・ひよこサロンへの参加 ・支援センターでの読み聞かせ				

歴代役員名簿

発足当初（H14年度）

会　長　鈴木忠由（フレンズ）
副会長　大家美枝子（たんぽぽの会）
理　事　藤井多恵子（下田手話サークルあじさい会）
〃　土谷清子（下田市点字サークルあけぼの会）
〃　中西正子（きずなの会）
監　事　沢路静子（下田生活学校）

平成15年度

会　長　鈴木忠由（フレンズ）
副会長　大家美枝子（たんぽぽの会）
理　事　藤井多恵子（下田手話サークルあじさい会）
〃　土谷清子（下田市点字サークルあけぼの会）
〃　中西正子（きずなの会）
監　事　沢路静子（下田生活学校）

平成16年度

会　長　鈴木忠由（フレンズ）
副会長　大家美枝子（たんぽぽの会）
理　事　藤井多恵子（下田手話サークルあじさい会）
〃　土谷清子（下田市点字サークルあけぼの会）
〃　中西正子（きずなの会）
〃　土屋富男（NTTOB下田まいまいの会）
〃　小澤豊夫（須崎美化推進クラブ）
〃　小川志津子（「遊・VIVA!」ネットワーク）
監　事　沢路静子（下田生活学校）

平成17年度

会　長　小澤豊夫（須崎美化推進クラブ）
副会長　大家美枝子（たんぽぽの会）
理　事　土屋富男（NTTOB下田まいまいの会）
〃　小川志津子（「遊・VIVA!」ネットワーク）
〃　山下千與子（下田市女性の会）
〃　佐藤清嗣（手話サークル伊豆海会）
〃　込江千代蔵（下田防波堤愛好会）
〃　立野健藏（下田市アマチュア無線非常通信協力会）
監　事　鈴木道明（NPO静岡福祉レクリエーション連盟下田支部）

平成18年度

会　長　小澤豊夫（須崎美化推進クラブ）
副会長　大家美枝子（たんぽぽの会）
理　事　土屋富男（NTTOB下田まいまいの会）
〃　小川志津子（「遊・VIVA!」ネットワーク）
〃　山下千與子（下田市女性の会）
〃　佐藤清嗣（手話サークル伊豆海会）
〃　込江千代蔵（下田防波堤愛好会）
〃　立野健藏（下田市アマチュア無線非常通信協力会）
監　事　鈴木道明（NPO静岡福祉レクリエーション連盟下田支部）
〃　浅野勝美（ボーイスカウト下田第1団）

平成19年度

会　長	小澤豊夫	(須崎美化推進クラブ)
副会長	立野健藏	(下田市アマチュア無線非常通信協力会)
理　事	土屋富男	(NTTOB下田まいまいの会)
〃	小川志津子	(「遊・VIVA!」ネットワーク)
〃	山下千與子	(下田市女性の会)
〃	佐藤清嗣	(手話サークル伊豆海会)
〃	込江千代蔵	(下田防波堤愛好会)
〃	増田かつ子	(大賀茂ほたる便)
監　事	鈴木道明	(NPO静岡福祉レクリエーション連盟下田支部)
〃	浅野勝美	(ボーイスカウト下田第1団)

平成20年度

会　長	浅野勝美	(ボーイスカウト下田第1団)
副会長	立野健藏	(下田市アマチュア無線非常通信協力会)
理　事	小川志津子	(「遊・VIVA!」ネットワーク)
〃	山下千與子	(下田市女性の会)
〃	佐藤清嗣	(手話サークル伊豆海会)
〃	込江千代蔵	(下田防波堤愛好会)
〃	増田かつ子	(大賀茂ほたる便)
〃	井田一久	(下田災害ボランティアコーディネートの会)
監　事	鈴木道明	(NPO静岡福祉レクリエーション連盟下田支部)
〃	荒井由美子	(ガールスカウト静岡県支部61団)

平成21年度

会　長	浅野勝美	(ボーイスカウト下田第1団)
副会長	鈴木道明	(NPO静岡福祉レクリエーション連盟下田支部)
理事(会計)	山下千與子	(下田市女性の会)
理　事	小川志津子	(「遊・VIVA!」ネットワーク)
〃	佐藤清嗣	(手話サークル伊豆海会)
理　事	増田かつ子	(大賀茂ほたる便)
〃	井田一久	(下田災害ボランティアコーディネートの会)
〃	原田恵子	(下田市健康づくり食生活推進協議会)
監　事	荒井由美子	(ガールスカウト静岡県支部61団)
〃	山本祐子	(ぐるーぷ「鮎の詩」)

平成22年度

会　長	浅野勝美	(ボーイスカウト下田第1団)
副会長	鈴木道明	(NPO静岡福祉レクリエーション連盟下田支部)
理事(会計)	山下千與子	(下田市女性の会)
理　事	小川志津子	(「遊・VIVA!」ネットワーク)
〃	佐藤清嗣	(手話サークル伊豆海会)
〃	増田かつ子	(大賀茂ほたる便)
〃	原田恵子	(下田市健康づくり食生活推進協議会)
〃	土屋八重	(さざなみ会)
監　事	荒井由美子	(ガールスカウト静岡県支部61団)
〃	山本祐子	(ぐるーぷ「鮎の詩」)

平成23年度

会　長	浅野勝美	(ボーイスカウト下田第1団)
副会長	鈴木道明	(NPO静岡福祉レクリエーション連盟下田支部)
理事(会計)	山下千與子	(下田市女性の会)
理　事	小川志津子	(「遊・VIVA!」ネットワーク)
〃	佐藤清嗣	(手話サークル伊豆海会)
〃	原田恵子	(下田市健康づくり食生活推進協議会)
〃	土屋八重	(さざなみ会)
〃	江波路子	(海のおしば なのりその会)
監　事	荒井由美子	(ガールスカウト静岡県支部61団)
〃	山本祐子	(ぐるーぷ「鮎の詩」)

平成24年度

会　長	浅野勝美	（ボーイスカウト下田第1団）
副会長	鈴木道明	（NPO静岡福祉レクリエーション連盟下田支部）
理事(会計)	原田恵子	（下田市健康づくり食生活推進協議会）
理　事	佐藤清嗣	（手話サークル伊豆海会）
〃	江波路子	（海のおしば なのりその会）
〃	細井和美	（ガールスカウト静岡県第61団）
〃	土屋穂波	（はつらつ健康劇団）
〃	桑原晃子	（アンデルセン）
監　事	山本祐子	（ぐるーぷ「鮎の詩」）
〃	土屋八重	（さざなみ会）

平成25年度

会　長	浅野勝美	（ボーイスカウト下田第1団）
副会長	鈴木道明	（NPO静岡福祉レクリエーション連盟下田支部）
理事(会計)	原田恵子	（下田市健康づくり食生活推進協議会）
理　事	佐藤清嗣	（手話サークル伊豆海会）
〃	細井和美	（ガールスカウト静岡県第61団）
〃	土屋穂波	（はつらつ健康劇団）
〃	桑原晃子	（アンデルセン）
〃	大野美知子	（しもだ子育て応援隊“ぽっぽ”）
監　事	土屋八重	（さざなみ会）
〃	江波路子	（海のおしば なのりその会）

平成２５年度　下田市ボランティア連絡協議会　名簿

NO	団　体　名	会員数	代　表　者　名	活　動　内　容
1	フレンズ	6	鈴木　忠由	一人住まいの高齢者、障害者、車椅子の方等通院の送迎介助活動・老人ホームへの慰問等
2	下田手話サークル あじさい会	10	藤井　吉康	手話の勉強、指導 聾唖者との交流
3	下田市点字サークル あけぼの会	7	土谷　清子	点字・視覚障害者援助 福祉教育
4	たんぽぽの会	20	大家　美枝子	老人ホーム、病院慰問 手芸作業　　行事援助他
5	我楽路の会	35	鈴木　悦子	老人ホーム訪問　行事援助
6	ＮＴＴＯＢ下田まいまいの会	14	渡辺　角夫	児童関係、パネルシアターの作成
7	下田ボランティアガイド協会	27	杉坂　太郎	観光ガイド活動
8	須崎美化推進クラブ	6	小澤　豊夫	地域美化活動
9	ガールスカウト 静岡県第６１団	25	細井　和美	募金活動　その他奉仕
10	サークル・エコ	5	小川　志津子	クリーン作戦・廃油石鹸作り マイバッグ運動
11	大賀茂ほたる便	12	前田　由美	健康教室
12	下田市女性の会	71	増田　悦子	つくし学園の草刈り・梓の里ボランティア・赤い羽根募金・ふれあい広場手伝い
13	たまごの会	5	渡辺　奈津江	環境、福祉、教育、子育て支援
14	さざなみ会	6	土屋　八重	視覚障害者へ市の広報を主に録音テープを送付
15	ぐるーぷ「鮎の詩」	8	山本　祐子	児童、高齢者、一般への読み聞かせ、朗読運動
16	ほほえみ	3	鈴木　宏子	配食サービスの対象者に月１回お便りを配布する
17	手話サークル 伊豆海会	23	佐藤　清嗣	手話の勉強、指導、聾唖者との交流
18	ボーイスカウト下田第１団	10	山田　紀彦	募金活動　その他奉仕
19	下田防波堤愛好会	28	大塩　忠重	堤防清掃
20	下田市アマチュア無線 非常通信協力会	11	山本　忠男	防災訓練、災害情報の収集
21	下田市健康づくり食生活 推進協議会	30	原田　恵子	健康教室、親子料理教室等
22	NPO静岡県福祉レクリェーション 連盟下田支部	29	鈴木　道明	車椅子社交ダンス
23	海のおしば なのりその会	12	江波　路子	海草押し花普及活動 海草押し花講習会の開催
24	「遊・ＶＩＶＡ！」ネットワーク	20	小川　志津子	子供たちや子連れのパパ、ママたちの安全な「居場所づくり」活動
25	NPO法人賀茂災害ボランティア コーディネートの会	29	井田　一久	災害時ボランティアコーディネート活動
26	しもだ子育て応援隊“ぽっぽ”	51	伊澤　英子	一時的な託児支援。イベント時などの託児。子育てサロン支援
27	下田国際交流の会	7	木田　寿司	下田市主催の各種イベント、外国人旅行者への通訳・翻訳。
28	はつらつ健康劇団	9	土屋　穂波	高齢者の生活や健康増進啓発劇
29	アンデルセン	7	桑原　晃子	学校内での読み聞かせ、勉強サポート
	合計	526		

編集後記

下田市ボランティア連絡協議会が創立10周年を迎え、記念大会ならびに、記念誌を作成できますことは、大変喜ばしいことであります。

発行にあたり、発足当初から現在に至るまでを振り返り、様々な試みを行なう中で、ボランティア団体相互の連携が強化されたこと、諸先輩方のご努力を経て、現在の姿があるという歴史の重さを、改めて再確認いたしました。

10年という節目の年にあたり、この記念大会、記念誌が下田市ボランティア連絡協議会の活動を広く多くの方に知っていただく機会となり、また、各団体の活動に目を向けて頂き、行政機関や関係団体はもとより、地域で暮らす方々とさらなる連携を図り、地域福祉の増進につながる事を願っております。

終わりに、大変お忙しい中、ご祝辞を賜りました下田市長、下田市議会議長、下田市教育長各位にお礼申し上げますとともに、各ボランティア団体の活動紹介等にご協力頂きました関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

下田市ボランティア連絡協議会の益々の発展を祈りまして編集後記とさせていただきます。

平成２５年６月

『下田市ボランティア連絡協議会創立10周年記念誌』

発行：下田市ボランティア連絡協議会

編集：下田市社会福祉協議会　久保田勝

事務局　社会福祉法人下田市社会福祉協議会
〒415－0024　下田市四丁目1番1号　総合福祉会館内
TEL：0558－22－3294　FAX：0558－22－0584